

令和4（2022）年度 資源評価調査状況報告書（新規拡大種）

ブロック：瀬戸内ブロック

マアナゴ

海域	瀬戸内海	参加機関	水産研究・教育機構 水産資源研究所 社会・生態系システム部、大阪府立環境農林水産総合研究所水産研究部水産技術センター、兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター、岡山県農林水産総合センター水産研究所、徳島県農林水産総合技術支援センター、香川県水産試験場、愛媛県農林水産研究所水産研究センター栽培資源研究所
----	------	------	---

(1) 調査の概要

- ・「あなご類」としては漁業・養殖業生産統計年報が利用可能である
- ・大阪府、兵庫県、岡山県、徳島県、香川県、愛媛県において漁獲量・努力量等の収集を実施中である

(2) データ収集状況

- ・漁業・養殖業生産統計年報による瀬戸内海区の「あなご類」漁獲量（トン）が利用可能である
- ・2021年の瀬戸内海区における「あなご類」漁獲量は308トンであった
- ・大阪府では、2021年度から継続して、標本漁協における2005年以降の漁法別漁獲量および出漁日数を集計するとともに、あなごかごのCPUEを算出した
- ・兵庫県では、2021年度対象としたものから標本漁協を変更し、1992年以降の小型底びき網CPUEデータを収集した
- ・岡山県では、県東部のあなごかごおよび、県東部、西部において小型底びき網の標本船による2019年以降の月別CPUEデータの収集を継続した。加えて、2020年1月以降の標本漁協（1漁協）の小型底びき網（8隻）についてCPUEデータの収集を継続した
- ・徳島県では、紀伊水道瀬戸内海側の標本漁協における底びき漁業で漁獲されたマアナゴについて、2008年以降のCPUEデータの収集を継続した
- ・香川県では、播磨灘（3漁協）、備讃瀬戸（1漁協）および燧灘（2漁協）の標本漁協における小型底びき網による2002年以降の漁獲量およびCPUEのデータを収集した。燧灘については、標本漁協が2021年度の3漁協から2漁協へ変更になった
- ・愛媛県では、2021年度から継続して、伊予灘の標本漁協（2漁協）における小型底びき網による2021年4月以降の漁獲量データを収集した

(3) 生物学的特性

・瀬戸内海における本種を対象として報告された論文および「マアナゴ伊勢・三河湾の資源評価（横内ほか 2022）」を参考に以下を記載した

(1) 分布・回遊：

日本沿岸のほぼ全域および朝鮮半島沿岸、渤海、黄海、東シナ海に幅広く分布する。主たる分布域は沿岸浅海域であるが、幅広い分布水深帯を持つ。仔魚（レプトケファルス）は、南西諸島に近い黒潮流域で採集報告があり、黒潮などの海流による長距離の移動分散の後、接岸する。春季に変態直前から変態期の個体が沿岸域に出現し、浅海の静穏域で変態して着底する。内湾で着底・成長した個体は、加齢とともに湾外へと移動するものと考えられる。大阪湾では、3～5月にレプトセファルス（ノレソレ）として来遊し（Gorie et al. 2004）、4～5月に水深 10～20 m の沿岸域の砂泥底に着底する（Gorie and Tanda 2004）

(2) 年齢・成長：

鍋島（2001）によると、雌の場合、1歳で全長 28 cm（15～30 cm）、2歳で 38 cm（30～45 cm）、3歳で 48 cm（40～55 cm）、4歳で 57 cm（50～63 cm）、雄の場合、1歳で 27 cm（15～30 cm）、2歳で 37 cm（30～44 cm）、3歳で 45 cm（40～55 cm）、4歳で 52 cm（48～56 cm）に成長し、雌の方が若干成長の早い傾向がある。播磨灘北西部では、年齢と全長の関係式ならびに全長と体重の関係式が報告されている（福田 1994、篠原ほか 1998）

(3) 成熟・産卵：

成熟した卵を持ったマアナゴ親魚が天然では全く得られていないなど、成熟・産卵生態については不明な点が多い。産卵場の一つが、沖ノ島島南方の九州パラオ海嶺付近に確認されている

(4) 被捕食関係：

変態直後の稚魚（全長約 10 cm）では、コペポータ、ヨコエビ類、甲殻類稚仔、多毛類などからなる小型の底生生物、成長につれエビ類、魚類、軟体類を捕食する。捕食者については不明（鍋島 2001）

(4) 備考

- ・大阪府のあなごかごでは、漁業許可条件として休漁日の設定、操業時間の制限、かごの目合い、およびかご数の制限があり、遵守されている。また、自主規制として全長28 cm以下の個体の再放流が取り組まれている
- ・岡山県では、漁業者の自主的な取り組みとして、全県において小型底びき網袋網の目合いの拡大が行われている。更に全長25 cm以下の個体の再放流が行われている
- ・香川県では、漁業者の自主的な取り組みとして、あなごかごについて、全長30 cm以下の個体の再放流が行われている

引用文献

福田富男（1994）岡山県下におけるマアナゴの相対成長式について．岡山県水産試験場報告, 9, 1-4.

Gorie, S., M. Tanaka and S. Katayama (2004) Age and growth of White-spotted Conger *Conger myriaster* collected in Northeast Harima Nada, Seto Inland Sea. Suisanzoshok

u, **52**, 407-411.

Gorie, S. and M. Tanda (2004) Growth and stomach contents of juvenile White-spotted Conger *Conger myriaster*. *Suisanzoshoku*, **52**, 139-144.

鍋島靖信 (2001) マアナゴの成長と食性. *月刊海洋*, **33**, 544-550.

篠原基之・福田富男・萱野泰久・濱崎正明 (1998) 播磨灘北西部におけるマアナゴの年齢組成と成熟について. 第4回瀬戸内海資源海洋研究会報告, 73-77.

横内一樹・澤山周平・青木一弘・堀 正和・川内陽平 (2022) 令和3 (2021) 年度マアナゴ伊勢・三河湾の資源評価. 水産庁・水産機構 <http://www.abchan.fra.go.jp/digests2021/details/202120.pdf>